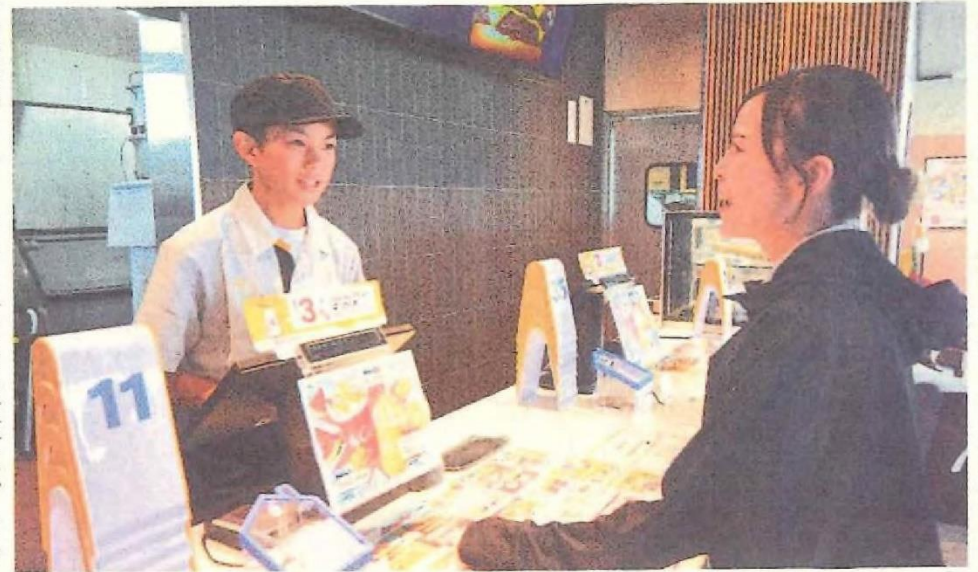


調理や接客、働く楽しさ 鹿島高付中生が職場体験



接客を体験する生徒（左） 鹿嶋市宮中

勤労観や職業観を養おうと、鹿島高付属中（小沼浩幸校長）の職場体験が鹿嶋市内の13カ所の事業所や研究施設で行われた。2年生40人が参加し、調理や接客などを体験しながら、働く楽しさを学んだ。

職場体験は、仕事について理解を深める探究学習の一環。「海外と日本の仕事の違い」を探究テーマにした班の3人は、アメリカ発のフランチャイズを体験しようと、マクドナルド124鹿嶋店（同市宮中）を8月27、28日に訪れた。店長の東孝典さんと同店従業員から接客マナーや調理法を学んだ。

レジ担当の生徒は、セツト商品の選択に苦戦しながらも、丁寧に注文を聞き「テーブルでお待ちください」とおつりを手渡した。また、氷の量を調節しドリンクを作ったり、ポテトを袋に詰めたりした。そのほか、テーブルやいすの油污れを拭き取り、利用するお客さんが気持ちよく過ごせるように作業していた。

参加した田中遥琥さん（14）は「お客さんへ笑顔で接客することを学んだ。コミュニケーションが大切だと思った」と話した。職場体験は、同所のほか、東洋計測や小山記念病院などで行われた。（三上山明里）

茨城新聞 2024年9月5日（木）掲載